

●ブックトークシナリオ

【テーマ】 わたしからあなたへ～気持ちや考えを伝える～

【対象】 小学校5・6年生

【所要時間】 20分

シナリオの記載方法について

- ・動作は□で囲ってあります。
- ・表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- ・本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- ・本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	日本語を味わう名詩入門 1 宮沢賢治		あすなろ書房	2011
2	すきっていわなきゃだめ?	辻村深月／作 今日マチ子 ／絵 瀧井朝世／編	岩崎書店	2019
3	あしながおじさん	ジーン・ウェブスター／作 谷口由美子／訳	岩波書店	2002
4	星空を届けたい ～出張プラネタリウム、は じめました!～	高橋真理子／文 早川世詩男／絵	ほるぷ出版	2018
5	読みがたり山梨のむかし話	山梨国語教育研究会／編	日本標準	2004

【シナリオ】

●導入

皆さんには何か好きなものがありますか？ 食べ物でも、勉強でも、趣味でも良いです。それを頭に思い浮かべてください。次に、頭に浮かんだものを隣の人に紹介するとしたら、何を伝えるか考えてみてください。うまく言葉にできそうですか？

今日は、誰かに何かを勧めたり、自分の考えを伝えたりすること、「わたしからあなたへ」をテーマに本を紹介していきます。

1『日本語を味わう名詩入門 1 宮沢賢治』

この『日本語を味わう名詩入門』は、詩に馴染みがない人向けに優れた詩人の作品を紹介し、詩の良さを知ってもらおうという本です。どうすれば詩の良さがわかるのでしょうか。その部分を読んで見ます。

p.5 7行目～10行目を読む 【方法は、一つだけです。(中略) 自分だけの新しい感動を得ることができるはずです。】

この本では、詩を声に出して読むこともすすめているので、いくつか読んでみましょう。1行ずつ読むので、みなさんも繰り返して言うてみてください。1つめはこの詩です。

p.92 1行目～8行目を読む 【**〔雨ニモマケズ〕 雨ニモマケズ (中略) イツモシツカニワラッテナル**】

これは「注文の多い料理店」などの物語で有名な宮沢賢治という人の詩です。真面目で、少し硬い感じがする詩です。もう1つ読みます。今度はみなさんは声に出さずに耳で聞いてみてください。

p.40 1行目～p.41 2行目までを読む 【**永訣の朝 きょうのうちに (中略) (あめゆじゅとてちてけんじゃ)**】

先ほどの詩「雨ニモマケズ」と比べて、聞いた感じはどうですか？ どちらの詩も宮沢賢治が作ったものです。「永訣の朝」は方言が使われていることもあって人間味があり、妹が亡くなる悲しい気持ちが伝わってきます。

表紙を見せる

この本『日本語を味わう名詩入門1 宮沢賢治』には全部で 23 編の詩が載っています。色々な味わいの作品を読み比べてみてください。

2『すきっていわなきゃだめ?』

賢治は自分の詩を「心象スケッチ」、心に映った世界を描いたものだと言っていました。でも、私たちは、心の中をうまく言葉にできなかったり、わざと言葉にしなかったりすることもあります。

表紙を見せる

この絵本『すきっていわなきゃだめ?』では、友達に対する複雑な気持ちが描かれています。ある日、主人公はクラスメイトにこんなことを聞かれます。

女の子から「すきな ひと いなの?」と質問された場面のページ イラストを見せ、1行目～2行目を読む 【「すきな ひと いなの?」と、みっちゃんに きかれた。(中略) すきって いわないの?】

実は、主人公は友達の「こうくん」のことが好きなのです。

赤い服の男の子(こうくん)が3人の友達と話している場面のページ イラストを見せ、1行目～

赤い服の男の子(こうくん)がネコをなでている場面のページ 1行目を読む 【いっしょに いると、とても たのしい。(中略) もっともっと こうくんの ことが しりたくなる。】

でも、こんな気持ちもあります。

片足とサッカーボールがある場面のページ イラストを見せ、1行目～3行目を読む 【こうくん に もし「すき」って 言って、いやがられたら どうしよう。(中略) むねが とっても くる くなる。】

好き嫌いに関わらず、相手に自分の気持ちをストレートに伝えて関係が良くなる時と、逆にぎくしゃくしてしまう時とありますよね。そのため、主人公は胸の中に自分の気持ちをしまっていました。

ピンクのランドセルの女の子(りなちゃん)が赤い服の男の子(こうくん)に告白する場面のページ イラストを見せる

ところが、こうくんは「好き」だと告白する人物が現れます。主人公は色々なことを考えてしまい、こうくんのことが好きなのかさえわからなくなります。

表紙を見せる

こうくんは告白した人を好きになって、その人としがよくなるのでしょうか？ 主人公も、こうくんに「すきっていわなきゃだめ?」なのではないでしょうか。

3『あしながおじさん』

自分の気持ちを表へ出さない人もいれば、自分の名前さえ知られたくないという人もいます。

表紙を見せる

これは今から 100 年くらい前のアメリカを舞台にした物語『あしながおじさん』です。孤児院で育ったジェルーシャ・アボットは、ある日院長に呼ばれます。ジェルーシャは 17 歳で、もう孤児院を出ていかなければなりません。でも、孤児院に寄付をしている「評議員」の一人がジェルーシャを大学へ行かせてくれることになったのです。ただし、条件がありました。そこを読みます。

p.17 14行目～p.18 6行目まで読む 【お金は、ひと月に一度、その方の秘書から、あなた宛に送られてきます。(中略) 手紙は、ジョン・スミス様宛で、秘書に送りなさい。その方はジョン・スミス氏ではないのですが、本名はふせておきたいのだそうでね。】 ジェルーシャは院長室に入る前、とても背の高い評議員が帰るのを見ていました。どうやらその人がジェルーシャの作文の才能を見込んで、お金を出してくれるようですが、いったい誰なのかジェルーシャは気になります。

大学の寮に住み、学び始めたジェルーシャは、早速手紙を出しました。ジョン・スミス氏は背が高かったので「あしながおじさん」と呼ぶことにすること、自分はジュディと呼んでもらいたいこと、大学の勉強や同じ部屋のサリーとジュリアのこと、大学の様子を見に来たジュリアの叔父さんのこ

となど、何でも手紙に書いていきます。作文の才能を見込まただけあって、手紙はどんどん読み進められる楽しいものです。時には、ジュディはあしながおじさんにこんな悩みを打ち明けたこともあります。

p.36 5行目～10行目を読む 【じつはね、おじさん、大学で大変なのは、勉強じゃないんです。（中略）あたしはまるで外国人で、みんなのつかっていることばがわからないんです。】 孤児院で育ったジュディは、家庭で育った周りの学生が当然知っていることを知りませんでした。話が合わない寂しさ、コミュニケーションの取りづらさを感じていたのです。

こんなふうに、ジュディは約束通りあしながおじさんに手紙を書いていきます。

p.46 のイラストを見せる この絵のようにあしながおじさんの姿を想像して手紙に書いたり、返事がほしいと書いたりすることもあります。でも、あしながおじさんから返事が来ません。自分の正体を知られたくないからです。それでも、とうとうあしながおじさんと直接会うチャンスがやってきます。ジュディはあしながおじさんの住むニューヨークに向かいますが…。

表紙を見せる

誰かに手紙を書く楽しい気持ちがジュディの手紙から伝わってきますし、あしながおじさんの正体に少しずつ近づいていくワクワクも味わえる本です。ぜひ読んでみてください。

ちなみに、この本を書いたジーン・ウェブスターはアメリカ人ですが、日本語に訳したのは山梨出身の谷口由美子さんです。

4『星空を届けたい』

表紙を見せる

この『星空を届けたい』も、山梨が関係しています。小学校6年生の国語の教科書でも紹介されているこの本の作者、高橋真理子さんは、2013年まで山梨県立科学館でプラネタリウムの仕事をしていた。

巻末「〈病院がプラネタリウム〉の様子」「病院内に設置したドーム」の写真を見せ、指さす

その後、この写真のような移動式プラネタリウムを持って「出張プラネタリウム」を始めるまでをまとめたのがこの本です。

高橋さんは、高校生の時オーロラに興味を持ち、大学生になってからは、オーロラミュージアムを作りたいと思っていました。ミュージアム、つまり博物館を作る一歩として科学館に就職したのです。科学館で目の見えない人に星空を紹介した経験から、目が見えない人だけでなく、耳が聞こえない人や外出が難しく科学館に来られない人にも「星空を届けたい」と思うようになりました。その理由が書いてある所を読んでみます。

p.129 1行目～6行目を読む 【広い宇宙には、数千億という銀河があって、（中略）これは、ほんとに奇跡です。】

p.129 10行目～12行目を読む 【わたしたちはだれもが「一人では生きていけない」ことも感じるでしょう。（中略）きっと大切なことなのです。】

高橋さんは〈病院がプラネタリウム〉というプロジェクトを立ち上げました。病院に移動式プラネタリウムを持っていき、長いこと入院している子どもたちに星空を見てもらう活動です。

プラネタリウムを見て、子どもたちはどんな反応をするのでしょうか？

表紙を見せる

この本『星空を届けたい』を開いて、確かめてみてください。

5『読みがたり山梨のむかし話』

ジュディからあしながおじさんへ。科学館から科学館に来られない誰かへ。自分にとって特別な人に、そして誰かに何かを届けたり伝えたりすることをテーマに本を紹介してきました。さて、世界には、親から子ども、またその子どもへと長く伝えられてきたものがあります。何でしょうか？

表紙を見せる

昔話です。この本『読みがたり山梨のむかし話』は、小中学校の先生などが協力して、地域のおじいさんおばあさんが語ってくれた話を集め、愉快な話・かわいそうな話・不思議な話などに分けてまとめたものです。

p.4～5「もくじ」から2～3タイトルを読む

「おぼ捨て山」「へっぴり嫁」「ムジナの話」などの昔話があります。その中から「地蔵浄土」を読みます。

p.11～15 「地蔵浄土」を読み聞かせ 【地蔵浄土 むかし、むかし、あるところに（中略）いっしょに地獄に連れてったと。】

p.252 「山梨のむかし話地図」を見せる

本の最後には、本で紹介した昔話がどの地域の昔話かわかる地図があります。「地蔵浄土」はどこ
の昔話か見てみると……中央市の辺りの昔話でした。地図を見ると、山梨のどこでも同じ話が伝わ
っているわけではないことがわかります。

表紙を見せる

自分の住んでいる地域の昔話を探して読んでみてください。「読みがたりむかし話」シリーズとし
て他の都道府県の昔話も本になっているので、他の都道府県ではどんな昔話が伝わっているのか調
べるのも面白いです。

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う

さて、「わたしからあなたへ」何かを勧めたり、伝えたりすることをテーマに5冊の本を紹介しま
した。

詩の良さを伝える『日本語を味わう名詩入門 1 宮沢賢治』、友達をめぐる複雑な気持ちを描いた
『すきっていわなきゃだめ?』、手紙の書き方の参考にもなる『あしながおじさん』、出張プラネタ
リウムの取り組みが分かる『星空を届けたい』、山梨に伝わる昔話を集めた『読みがたり山梨のむ
かし話』です。

今日紹介した本は、すべて図書館や本屋さんで手に入ります。ぜひ手に取ってみてください。

【その他の本】 こちらの本もおすすです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

- ・『おーいぼんた〜声で読む日本の詩歌 166〜』 茨木のり子／他編集委員 柚木沙弥郎／画
福音館書店 2001 年
- ・『もしも動物と話せたら?』 ジェイソン・ビッテル／文 ケルシー・バゼル／絵
松藤留美子／訳 今福道夫／監修 化学同人 2021 年
- ・『てがみはすてきなおくりもの』 スギヤマカナヨ／著 講談社 2003 年
- ・『戦争を取材する〜子どもたちは何を体験したのか〜』 山本美香／著 講談社 2011 年

(山梨県立図書館 2025.12)